

令和7年度第1回摂津市産業振興アクションプラン懇話会 議事録

- 日時 : 令和7年9月1日(月) 15時00分～16時30分
- 開催場所 : 南千里丘別館 産業支援ルーム
- 出席者 : 岩橋 亮 委員 谷川 幸広 委員 小川 佳美 委員
竹内 等 委員 島内 嘉紀 委員 渡邊 勝彦 委員
橋口 勝利 委員 ※欠席 山田 匡規 委員
- 事務局 : 川西、緒方、上田、福田（摂津市産業振興課）
- 配布資料 : ■【資料1】産業振興アクションプラン令和6年度の進捗管理について
■【資料2】令和7年度の取組について
■ 摂津市産業振興アクションプラン懇話会委員名簿
- 議題 : 1. 委員の交代について
2. 産業振興アクションプラン令和6年度の進捗管理について
3. 令和7年度の取組について（資料2）
4. 次回の懇話会について

座長

それでは時間となったので、「令和7年度第1回産業振興アクションプラン懇話会」を開催する。まず初めに、事務局より本日の次第について説明をお願いしたい。

事務局

（事務局より、次第の説明）

座長

それでは次第1「委員の交代について」から始める。事務局の方から説明をお願いする。

事務局

今年度も体制に変更はないが、委員の交代があり、金融機関代表の北おおさか信用金庫千里丘支店、竹内委員を新たに委嘱する。せっかくの機会なので、委員の皆様の自己紹介も合わせてお願いしたい。(順番に自己紹介)

座長

それでは次に、次第2「産業振興アクションプラン令和6年度の進捗管理について」事務局から説明をお願いします。

事務局

(【資料1】を元に、令和6年度の目標値・実績値と、その結果になった理由を説明)

座長

本内容を受けて、何かご意見、あるいはご質問などはあるか。

委員

特になし。

座長

それでは次の議題に移っていく。次第3「令和7年度の実施について」事務局から説明をお願いしたい。

事務局

(事務局より、展示会補助の拡充、万博、オープンファクトリー、セッピー割引券・今後の取組について説明。

座長

展開1(中小企業の経営力・競争力向上の促進)、展開2(事業所間の交流・連携の促進、支援機関との連携強化)、を特に注力すべき展開として掲げている。また農業についても、展開7(都市農業への支援)として展開し、活動を行っていくと説明があった。これらの展開を中心として、アクションプランをさらに推進するために必要な活動を、この場で議論できればと思う。事務局から説明のあった内容について、各委員の立場からご意見、ご質問などはあるか。

委員

令和7年度も鳥飼なすワングランプリを通じて、生産者と飲食店が繋がったり、市民に知ってもらって食べていただけたりとすることが増えたと思う。農業に関しては、今後は地産地消や農福連携を発展させていきたい。計画は計画で作ってもらうのはけ

っこうだが、市にはやる気のある事業者の吸い上げなどし、支援してほしいと思っている。

委員

農福連携は他市でも盛んに行われており、摂津市も参考にできるのでは。

事務局

市内のとりかい高等支援学校では、鳥飼なす栽培を授業の一環として実施しているが、その後の農家へ就職とまでは至っていない。

委員

なすワングランプリを開催して分かったのだが、最大の課題は「流通」である。買う場所が少なく、配達の人員も足りていない。せっかく良い特産品なのに、もっと認知を広めるべき。例えば、水防ステーションのような場所で、常設でブースを設けるなどしてPRするのも一つではないか。

委員

展示会拡充について、１００万円以上は高すぎるのではないか。中小企業にとっての大規模展示会は、３０万円～５０万円が相場ではないか。

事務局

懇話会のご意見や、これまで展示会補助の申請をされた事業所の実績を元に１００万円と設定したが、「中小企業にはハードルが高い」というご意見もいただいている。あと数か月様子を見て、申請が少なければ内容を再検討したい。また、今後の予算を確保する上で、事業者様が展示会に出展した後の効果（売上増加・販路開拓など）の具体的な数値があればご教示いただきたい。

委員

小間代の３分の２を、上限なしで補助していただけたら有難い。

座長

アンケートを取るなどして意見をヒアリングしてみるのも一つではないか。

委員

今の計画はこれでいいと思っているが、事業者の意見が反映されないことが課題である。

委員

第2期の視点2「新たな産業を生み出し活力のあるまち」の部分は、摂津ビジネスサポートセンターができたことにより、創業サポートが手厚くなり、実現できたのではないかと感じる。一方で、小売業・サービス業の事業所数の減少や、企業の人材不足については大きな課題であり、それを解決すべき施策として、第3期で展開している「中小企業の経営力・競争力向上の促進」に注力することは理にかなっている。また、オープンファクトリーの取組は、地元の繋がりとお互い創出を可能にしている事業となっている。先日、鳥飼エリアの社長とお会いする機会があったが、魅力的な方であった。企業の「人」にスポットをあてて紹介していくのも面白いかもしれない。

座長

発信するベースが重要。紙だとその場だけになってしまうので、YouTubeなどで動画を残すことが望ましい。

委員

自動販売機を展開することはできないのか。自動販売機ならラッピングもできるし、摂津優品をいつでも気軽に買えることになる。

事務局

自動販売機を使った無人のアンテナショップといったイメージか。

座長

多くの人の目につくような場所で露出できればいい、ということだと思う。

委員

鳥飼東小学校跡地に、商業店舗をテナントとして呼び込めばいいのではないか。

事務局

空き店舗の活用などと絡めて考える余地はありそう。

座長

本日、商業代表者が欠席となっているが、小売・商業の取組についてはどうか。

委員

昨日、ことぶき商店街で「ことぶき縁日」が開催されていて大盛況で驚いた。続けてほしい。

委員

千里丘エリアは人口も増えており賑わっているが、鳥飼エリアは子どもも減っており、工場の後継者も減っているので、どのようにすれば人が集まるか、考える必要がある。

座長

スクラッチカードのアンケートで、「常連客にしか還元できていない」という声があったと聞いた。周遊性を高めるために、デジタルスタンプラリーなどで解決できるのではないか。

委員

スクラッチカードは、パンフレットの配布数が少ないと思う。ご年配の方は、スマホでQRコードを読み取ることが困難である。

事務局

逆に多いという意見もあるので、お店によってニーズが異なるのかもしれない。申請時に必要数を記入いただく欄を設けることも検討する。

座長

今までの話をまとめると、計画と事業所の声がうまくリンクしていない箇所があるので、特定の企業にスポットをあてるのは難しいとは思いつつ、やる気のある企業・人の意見を吸い上げることを意識してほしい。

事務局

承知した。

座長

それでは一定の意見が出たので、議論はここまでとし、次の議題に移る。最後に、次第4「次回の懇話会について」事務局から説明をお願いする。

事務局

令和7年度の懇話会は全2回の実施を予定している。次回は2月もしくは3月を予

定しているので、１月頃に日程調整のご連絡をさせていただく。

座長

これをもって、令和７年度第Ⅰ回産業振興アクションプラン懇話会を終了とさせていただきます。

以上